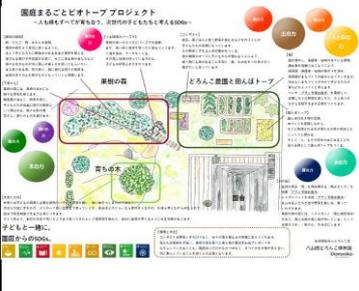


第32回「緑の環境プラン大賞」の受賞団体決定

第一生命保険株式会社(社長:稲垣精二)が出捐した一般財団法人第一生命財団(理事長:斎藤勝利)は、この度、第32回「緑の環境プラン大賞」の受賞団体を決定しました。

全国から、シンボル・ガーデン部門24点、ポケット・ガーデン部門24点、計48点の応募があり、2021年9月10日の審査会において次の作品の受賞を決定しました。

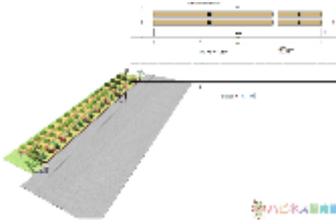
◎国土交通大臣賞 [2点]

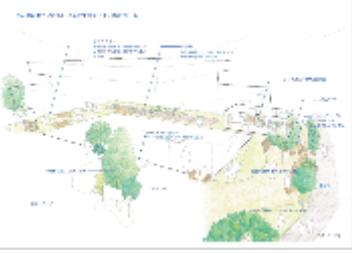
部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	ビバテラス・まなびの森庭プロジェクト (岩手県盛岡市)	ビバテラス BeBA TERRACE 運営協議会	公民連携による公園の整備運営に取り組む事業で、「あそび」と「まなび」をコンセプトに建物を包む明るい広葉樹林と広々とした芝生、美しい花を愛で野菜づくり等が学べるガーデンをつくり、人々が憩い、遊び、ふれあえる空間の創出を目的とする。また、行政に頼らない都市公園経営を目指す。	
ポケット・ガーデン	園庭まるごと ビオトーププロジェクト (福島県郡山市)	社会福祉法人 どろんこ会 八山田どろんこ 保育園	地域と子ども達と一緒に自然と共生する場を創り、次世代の子ども達とSDGsを考えることを目的とする。 ＜地域＞自由に行き来し、人が繋がりが合うコミュニティの場の形成 ＜環境＞命の営みを感じる園庭で五感を使い地球環境を考える場の形成 ＜循環と共生＞全ての生き物が支え合い、共に暮らしていることを体験から感じる場の形成	

◎緑化大賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	(仮称)九段南一丁目 プロジェクト 九段ひろば (東京都千代田区)	合同会社 ノーヴェグランデ	皇居お堀端に立地する九段会館の建替えに伴う、緑・水・歴史を感じられる外部空間づくりを通して、施設利用者や近隣住民、オフィスワーカー等の憩いと交流の場を創出する計画。子ども達が花植えに参加する花壇や、近隣住民が収穫に参加する菜園をつくり、都心にありながら人々が能動的に関わる緑地づくりを目指す。	
シンボル・ガーデン	唐招提寺 「香りの薬草園」 鑑真和上才花苑 (奈良県奈良市)	宗教法人唐招提寺	ユネスコより「古都・奈良の文化財の一部」として世界遺産に登録されている唐招提寺の境内に鑑真和上ゆかりの「香りの薬草園」を創設し、国内外からの参拝者に広く公開するプラン。作業には地域住民や近隣の子どもの参加を得るなど地域の交流に資するとともに、訪れた人々が癒しや活力を得ることができる薬草園を目指す。	

◎コミュニティ大賞 [9点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	日本の四季を五感で感じ、食育活動に繋がる保育園 (宮城県石巻市)	株式会社 エルプレイス ハピネス保育園南境	子どもたちと季節に合った野菜を育て・収穫し・食すまでの一連の流れを体験し、命の大切さを感じることが出来る畑を作る計画。畑を野菜や花で彩ることで、子どもたち・職員・地域の人にも癒しを与えることができる保育園作りとともに、保育園が地域交流の場となることを目指す。	
ポケット・ガーデン	あびっこたちの『ぼうけんやま』 (千葉県我孫子市)	社会福祉法人 樹聖華みどり保育園	多くの参拝客のある鎮守の神社と隣接し、市道にも面していることから、地域の人目に触れやすい保育園の園庭に3つのブースに分けた築山を作る。お散歩する親子や神社を参拝する人が、築山に登ったり、畑を見たり、丸太道を歩いたり、疲れた時にはケヤキやイチヨウの木陰で休んだりして、園児たちと交流する事を目指す。	
ポケット・ガーデン	五感で感じる色彩と香り。時を越えて紡がれる記憶 (静岡県浜松市)	社会福祉法人慈愛会 瞳ヶ丘こども園	園庭で体験した心地よい風、葉のざわめく音、草花の香り、木の実の感触。感覚の記憶は子ども達の大切な財産。特に五感の中で最も記憶と結びつく「香り」という要素を遊びや保育園活動の中に取り入れるとともに、季節ごとの特徴的な「香り」を放つ木々を植え、地域の方にも香りから季節感を感じてもらおうという計画。	
ポケット・ガーデン	一すべてを育む、風の吹く丘ー「育むガーデン河芸」 (三重県津市)	渡辺硝子株式会社	道の駅と近接し、交通の要所で食を中心とした地産地消の情報発信エリアとなっている元農地約2000坪の遊休地全体を使い、「育むガーデン河芸」を創出する計画。観賞用のガーデンではなく、ここを訪れる皆で育むガーデンとし、周辺の方々にも野外教育を目的に広く開放する。	
ポケット・ガーデン	地域を結び、世代を結ぶ。食育庭園『ゆうわの庭』 (兵庫県神崎郡市川町)	特定非営利活動法人 合氣道播磨裕和会	100年前には地域や世代が集う、文字通り「中の家」であった屋敷の庭に、今春、同会が障害児通所支援事業としての「ゆうわ・あいき」を開設。今後、過疎地のコミュニティを再生する必要性から、この広大な「ゆうわの庭」が地域愛を育む食育拠点ともなるように緑化整備していく計画。	
ポケット・ガーデン	古都に広がる里山の彩り (奈良県奈良市)	奈良・人と自然の会	平城宮跡地区歴史的風土保存地区にある「ならやま里山林」は、長らく放置され荒廃していたが、同会が管理を受託して、今は地域住民が訪れる憩いの場となった。これをさらに、子供たちが学び、遊び、つながるための場として活用するとともに、多くの生き物が生息できる環境を育む計画。	

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	令和に伝えるふるさとの自然「ふれあい里山ガーデン」 (広島県広島市)	広島市立 倉掛小学校	倉掛小学校がある場所は、かつては豊かな里山だった。今回の計画は、「現在の観察池を中心に緑地を整備してホタルを育て、他の生き物も育つ」「周辺の多様な昆虫が集まるゾーンとアケビや栗やクルミ、山椒など里山の実りを体験できるゾーンをみんなでつくり育てる」ことで、今も残るふるさとの自然を愛し守ろうとする心情を養うというもの。	
ポケット・ガーデン	地域の寄る処『ふる里の庭』へ (福岡県糸島市)	西日本短期大学 緑地環境学科 山本ゼミ	本企画は、『介護老人保健施設ふる里』の利用者の心身のリハビリ・機能回復とともに、地域住民と関わりをもていただくことが目的。また、「同地域で課題となっている竹林拡大阻止とヒートアイランド緩和に寄与するため園路を竹チップ舗装とする」「地域住民と協働の維持管理をする」という計画。	
ポケット・ガーデン	もりのちいさな図書館 ～ひろがりのなる庭～ (熊本県 葦北郡芦北町)	NPO 法人みさと	デイサービス利用者と地域住民、地元の子もたちとの交流の場にしようと計画され、令和2年7月豪雨により一端中止されたものの、水害後だからこそ必要との思いでできた『もりのちいさな図書館』。水害の爪痕が残る中で図書館の周りに緑を増やし、癒しの空間づくりと共に安心、安全な居場所、世代を超えた地域交流が深まる場とすることを目的とした計画。	

## 第 32 回 緑の環境プラン大賞 の概要

### ■目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図り、生活の質の向上やコミュニティの醸成等につなげるものです。

### ■募集の対象

シンボル・ガーデン部門	全国を対象	緑の持つ環境保全機能(ヒートアイランド緩和効果・生物多様性保全効果等)を積極的に取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成やコミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ地域のシンボリックな緑地プランを募集します。
ポケット・ガーデン部門	全国を対象	日常的な花や緑の活動およびクールスポットの創出を通して、地域交流やコミュニティの活性化・子どもの遊び場作り、保育園・幼稚園、学校、福祉施設等での情操教育や身近な環境の改善等のアイデアを盛り込んだプランを募集します。

### ■表彰

#### ●シンボル・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点	副賞 800万円以内(工事に対する助成金)
緑化大賞	2点程度	副賞 800万円以内(工事に対する助成金)

#### ●ポケット・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点	副賞 100万円以内(工事に対する助成金)
コミュニティ大賞	9点程度	副賞 100万円以内(工事に対する助成金)

### ■審査委員

委員長	進 士 五十八	福井県立大学 学長 / 東京農業大学 名誉教授
委員	稲 垣 精 二	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	宇 野 善 昌	国土交通省 都市局長
	坂 井 文	東京都市大学 都市生活学部 教授
	鈴 木 裕 一	株式会社産業経済新聞社 取締役
	永 山 妙 子	マネジメントコンサルタント
	三 上 真 史	俳優・タレント
	村 上 暁 信	筑波大学 システム情報系 教授
	盛 田 里 香	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	椰 野 良 明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

(順不同, 敬称略, 2021年9月現在)

### ■スケジュール

募集期間	2021年4月1日~6月30日	入選発表	2021年10月14日
審査会	2021年9月10日		

### ■主催等

主 催: 公益財団法人都市緑化機構, 一般財団法人第一生命財団  
 後 援: 国土交通省, 環境省, 全国知事会, 全国市長会, 全国町村会  
 特別協賛: 第一生命保険株式会社  
 協 力: 一般社団法人建設広報協会, 一般社団法人日本公園緑地協会,  
 一般社団法人日本造園建設業協会, 都市緑化基金等連絡協議会, 株式会社産業経済新聞社